

《平成19年度》

(株) 照和樹脂 (埼玉県吉川市)

【事業名】 廃プラスチックをリサイクルする為の汚れ・異物を除去し有効利用する為の技術開発

【事業の背景など】 当社はプラスチック再生事業と真空成型事業を行っている。硬質塩ビのリサイクルについては回収から製品化までの一貫システムを有している。

硬質塩ビリサイクルの課題は受入廃材の品質問題で、塩ビ管・継手協会の基準に合わせA, B, C品に分別するが、C品は汚れや異物混入がひどく、受入不可としていた。しかし、最近A, B品は極端に少なく、リサイクル事業を更に推進していくにあたって、品質の維持及び数量確保のために、C品又はそれ以下の格下品までも受入れて洗浄等で格上げして使用する必要が出ており、現状では手洗浄で対応している。本助成事業は、当社塩硬質塩ビのリサイクルシステムに用いる洗浄装置の開発を行う。

【事業の概要】 当社で検討を重ね、洗浄方法として①水洗浄（トロンメル洗浄）と②ドライ洗浄について試作機による洗浄試験を行った結果、②のドライ洗浄を採用することとした。ドライ洗浄装置は振動ふるいで、通常分級などに用いられているが、廃塩ビ管の破碎チップをふるいがけすることにより表面の汚れを剥離しふるい落とすことに利用するというもの。《高度技術施設》